

2-④-① 地域の“おたから”を活用しよう

■対象：地域住民

■人数：20人

■時間：80分程度

■手法：ラベルワーク

学習のねらい 公民館エリア内にある地域の“おたから”（歴史・自然・文化・産業・人等）について出し合うことで、地域のよさに気づくことができる。

時間	学習の流れ	留意点	準備物									
	<p>【はじめに】</p> <p>今日は、この地域の“おたから”である「ひと・もの・こと」について、どんなものがあるかみなさんと一緒に話し合います。今後、今回話し合ったことをもとに計画を立て、実際に訪れたいと思います。その前に少し心と体をほぐしましょう。</p>		市町村史、公民館活動記録集や公民館エリアマップ等があれば掲示する									
20分	<p>【アイスブレイク】</p> <p>① 地域行事の思い出紹介 ② パースデーチェーン ③ 自己紹介 ・所属と名前 ・子どもの頃夢中になった遊び</p>	<ul style="list-style-type: none"> 言葉を発せず、自分が一番早く起きたと思う順に並んで円をつくる。その後、4人のグループを作り、自己紹介をする。 	ストップウォッチ									
50分	<p>《はじめにルールとマナーを確認しましょう》</p> <p>【中心のワーク】</p> <p>① 個人で付箋に、地域の“おたから”を思いつくだけ書く [5分]</p> <p>② 7つに分割された模造紙に、グループで書いたことを紹介しながら整理する [20分]</p> <p>③ グループ発表を聞く [10分]</p> <p>④ 自分が地域外の人に発信したい内容を決め、カテゴリーごとに3～5人のグループをつくる [5分]</p> <p>⑤ 紹介したい内容に対する思いをグループで出し合い、具体的な紹介方法について話し合う [10分]</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1枚の付箋に1つ、思いつくままにできるだけたくさんのことを記入するように伝える。 紹介しながら、カテゴリーごとに分類してはっていくように伝える。（迷ったら、その他にはる） ※【アレンジ】他のグループの成果物を見て回ることに代えることもできる。 グループが1人か2人の場合、似た内容や結びつけられるもので調整しながら3～5人のグループをつくるよう声をかける。 次回も、同じグループで活動することを伝える。 	<p>付箋 サインペン</p> <p>模造紙 （7つに分割したもの）</p> <table border="1"> <tr> <td>歴史 史跡</td> <td>人</td> <td>自然 環境</td> </tr> <tr> <td>食 文化</td> <td>産業</td> <td>伝統 芸能</td> </tr> <tr> <td colspan="3">その他</td> </tr> </table>	歴史 史跡	人	自然 環境	食 文化	産業	伝統 芸能	その他		
歴史 史跡	人	自然 環境										
食 文化	産業	伝統 芸能										
その他												
10分	<p>【ふり返りと分かち合い】</p> <p>① 今日の話し合いをふり返っての感想を書く ② グループで話し合う</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中心のワーク④で決めたグループで行う。 全体に広げたいことは積極的に取り上げる。 	A4用紙 マーカー									
	<p>【おわりに】</p> <p>いかがでしたか。地域の魅力ある“おたから”についての話し合いを通して、紹介したい「ひと・もの・こと」が見つかったでしょうか。次回は、さらに具体的な紹介方法について話し合いますので、関係する情報があればご準備ください。みなさんの周りに関心がありそうな方がいたら誘い合わせて、次回もご参加ください。</p>											